

コード	402030201
記入日:	H22.6.3

## 事務事業途中評価表

課コード	115
課名	農林課
課長名	田本耕一
担当者	浜辺伊三美

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	農産物出荷奨励事業
----------	-----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	1
基本事業コード	40203	基本事業名称	農業生産性の向上	目コード	3
事務事業コード	4020302	事務事業名称	農作物出荷奨励事業費	細目コード	875
関連計画	法令・条例規則等		新上五島町農業振興奨励事業交付要綱		

**計画(PLAN)** ※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1)	農家	(対象指標1)	502戸			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	共同販売による出荷量を増加させる目的で補助金を交付した。つわ:2.696kg、かんころ:3.020kg、いんげん:840kgを出荷した。	*****	*****	*****	補助金交付件数/補助金申請件数	*****
		①	補助金交付件数	1件	100%	平成21年度
		(達成率分析)	農協から農家の申請を取りまとめた補助金交付申請があり、内容を確認し、申請どおり補助金を交付した。			
*****	*****	*****	*****	*****	*****	
②	(達成率分析)					
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
共販を目的とする主要作物の出荷に要する経費の一部を助成することにより、出荷農家の生産意欲の向上を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	出荷実績(6.5t)/出荷計画(6.5t)	*****
		①	出荷量	6.5t	100%	平成21年度
		(達成率分析)	農産物出荷経費の一部助成により生産意欲の向上が図られた。(つわぶき2.696kg、かんころ3.020kg、いんげん840kg)			
		*****	*****	*****	*****	*****
②	(達成率分析)					

**実施(DO)** ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	①	件	5	5	4	1	1				
	②										
成果指標	①	t	33.5	33.5	27	6.5	6.5				
	②										
総事業費C(A+B)	千円	5,952	5,952	4,680	1,272	1,272					
直接事業費A	千円	3,152	3,152	2,580	572	572					
人件費B	千円	2,800	2,800	2,100	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.4	0.4	0.3	0.1	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	5,952	5,952	4,680	1,272	1,272					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	離島のハンディを解消するため、出荷経費の軽減を図る必要がある。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	交通手段は便利になったが、出荷経費は無くならない。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	適切である
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	島外出荷品目の生産意欲の向上が図られる。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	現制度にて充分である。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	出荷経費の補助がなければ、生産意欲の低下及び農業所得の減少が予想される。
	類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	類似事業がない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	事業内容からみて、できない。
	人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	事業推進上できない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	補助率・単価を要綱で定めている。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		有効性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		効率性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		課題に向けた改善策	特になし
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	農家の生産意欲、農業所得の向上に向け、適切な指導・助言を行い農業の振興に努めること。
		効率性	補助金の支出については、内容を十分審査し適正な執行を行うこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。